



ほうしゅれいきゃく

放射冷却

—ふとした偶然から—

めあて

12月12日の空は、雲がひとつ1つもない夜空だったが、次の日の朝が寒いのはなぜか調べてみる。

予想

冷たい雨雲が、私たちが寝ている間にこちらに動いてきたから？晴れの方が暖かいのに？なぜ。

調べた結果

理由は…「放射冷却」のせいだった!!

★夜が晴れているとき★

放射冷却とは、物体から熱が放出され温度が下がっていくことをいいます。夜になり、地面から宇宙(空)に向かって熱が放出されると、熱をうばわれた地面は冷え、接している空気も冷やされ気温が下がります。

まとめると、夜に放射冷却が起こると、昼間に太陽があたためてくれた空気が宇宙(空)にどんどん逃げていき寒くなるのです。翌日、寒くなるのはそのせい。

★くもりの場合は★

熱が宇宙(空)にとうたつする前に、雲がいったん受け止めてくれるので、熱をまた地面に返してくれます。だからくもりの方があたたかいんだ!

感想

朝は晴れているとき、とてもあたたかいのかなと思っていたけど、くもりの方があたたかいのは予想外だった。また天気について調べたい。

【5年生Rさんの『ぐんぐんノート』より】

5年生のRさんは、本当に誠意あるあいさつ運動を続けてくれている女の子。

ある冷たい朝、一緒に校門にいたときに、『晴れているのになぜこんなに寒いのか?』という会話がきっかけで、Rさんはぐんぐんノート(自主勉強ノート)に調べてきたわけです。

少し恥ずかしそうな表情で、「調べてきたよ」と小声で言うRさんに、興味や関心を持つことの大切さを教えられました。

『学ぶ喜び・知る楽しさ』を、内容や形はどうあれ、どの子も味わってもらいたいと思う今日この頃です。

No Image